

2010 Annual General Meeting

Japan Branch of the Dickens Fellowship

ディケンズ・フェロウシップ日本支部

2010年 秋季総会



Little Paul Dombey
Engraving by Phiz

23 October 2010 at Tokyo Woman's Christian University

2010年10月23日 13時20分～

会場 東京女子大学

プログラム Programme

日時：2010年10月23日（土）13:20より October 23, 2010 1:20 p.m.

場所：東京女子大学 at Tokyo Woman's Christian University

〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1 2-6-1 Zenpukuji, Suginami-ku, Tokyo



東京女子大学 本館

理事会

Board of trustees meeting

(12:00 ~ 13:00)

24号館2階 24201教室

2010年度総会

2010 Annual General Meeting

(13:20 ~ 14:00)

24号館3階 24301教室

※24201教室は、13時から会員控室となります。

研究発表 第1部 Short paper session 1 (14:10 ~ 15:30) 24号館3階 24301教室

司会：松本靖彦（東京理科大学准教授）

- 1 「A Christmas Carol における「光」と「闇」——Phantasmagoric illusion による「光」への誘導」
関西学院大学大学院博士課程前期 福島 佳子
- 2 「ディケンズ作品における中国」
東京大学大学院博士課程前期 若澤 佑典

研究発表 第2部 Short paper session 2 (15:45 ~ 17:15) 24号館3階 24301教室

司会：玉井史絵（同志社大学教授）

- 1 「ディケンズとラスキン——風景が意味するもの」 京都大学大学院博士課程後期 木島 菜菜子
- 2 「Soyer's Symposium」 明治大学准教授 小宮 彩加



懇親会 Evening Party (18:00 ~)

会場：吉祥寺第一ホテル Kichijoji DAI-ICHI HOTEL

（会場へはタクシーに分乗して移動します）

会費：7,000円

懇親会のご案内

場所 吉祥寺第一ホテル

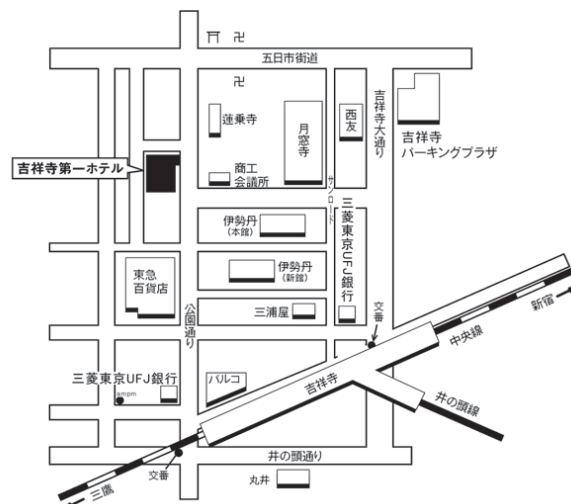
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-4-14

TEL 0422-21-4411 FAX 0422-21-8269

（吉祥寺駅より徒歩5分）

会費 7,000円

※会員の方はご出欠について、同封葉書により、10月18日までにご回答ください。会員以外の方の当日参加も歓迎します。



研究発表・特別講演・懇親会には会員以外の方でも自由に参加できます。

We welcome non-members to short paper sessions and the evening party.

研究発表 Papers

A Christmas Carol における「光」と「闇」 Light and Darkness in *A Christmas Carol*

——Phantasmagoric illusion による「光」への誘導——

関西学院大学大学院博士課程前期 福島 佳子

A Christmas Carol (CC) は、守銭奴 Scrooge が幽霊の導きによって一晩にして改心するという非現実的な御伽噺的ファンタジーであるにもかかわらず、出版当時 (1843 年) 大衆の間に大反響を巻き起こした。この大反響の一要因として、Dickens が光学的技巧を用いて Scrooge の改心物語を作り上げたことが挙げられる。Scrooge が「人間の輪」への復帰という形で改心を遂げる背景には、「光」と「闇」からの働きかけが大きく関与しており、Dickens は両者を巧みに操ることによって Scrooge の改心を可能にするとともに読者をも CC の光学的世界へと誘うことに成功したのである。

さらに、Scrooge を「人間の輪」へ誘導する両者の性質は、当時イギリスで流行していた Phantasmagoria の光学的魔術に近似する。Dickens が意図的に Phantasmagoria の光学的性質を導入したのか否かは定かではないが、光学的幻影によって見る側の視点・思考を操作し、何らかの精神的効果を引き出すという点で CC と Phantasmagoria が一致することを踏まえると、CC の光学的性質は少なからず Phantasmagoria 的光学的性質を帯びたものだと言えるだろう。本発表では、Phantasmagoria の光学的魔術の視点から Scrooge の改心過程にアプローチし、Dickens が Scrooge をいかに巧みに改心へと導いたのかを考察したい。

ディケンズ作品における中国 China in Dickens's Works

東京大学大学院博士課程前期 若澤 佑典

中国という場は、ディケンズにとって関心の外に位置していたのだろうか。例えば、ディケンズが編集に携わった『家庭の言葉』には、広東やアヘン貿易、中国の神話など、中国に関する記事が複数掲載されている。また、彼の息子の一人 Charley は、中国および香港においての茶貿易に携わり、実際に現地へと赴いている。ディケンズの周囲を見回した時、中国に関わる言説が少なからず存在していたことが分かる。

本発表においては、『リトル・ドリット』を中心として、『ドンビー父子』及び『エドウィン・ドルードの謎』を取り上げ、この三作品における中国の表象について分析を行う。ディケンズ作品において中国とは、蔑むべき異国なのか、貿易における消費の対象であるのか、あるいは同化や混合の可能性を含む脅威の場であるのか。本発表では、特にディケンズ作品における罪悪感の問題との関わりを考慮に入れ、中国という場が持つ意味について考察する。

ディケンズとラスキン Dickens and Ruskin Reconsidered

——風景が意味するもの——

京都大学大学院博士課程後期 木島 菜菜子

ディケンズとその作品群についていくつかの意見を書き残しているラスキンは、1863 年に次のような手紙を残している。

“His [Dickens's] powers of description have never been enough esteemed. The storm in which Steerforth is wrecked, in *Copperfield*; the sunset before Tigg is murdered by Jonas Chuzzlewit; and the French road from Dijon in *Dombey and Son*, and numbers of other such bits, are quite unrivalled in their way.” (Philip Collins, *The Critical Heritage* 443)

ディケンズの描写力を讃える批評の代表としてこの手紙はよく知られているが、ラスキンの賞賛している箇所を具体的に比較検討した研究は驚くほど少ない。

本論は、このラスキンの言葉を出発点とし、これらの場面の風景描写について共通点を見出すことでラスキンの評価基準を探り、それがディケンズの意図や趣向とどう関係するのかを考察する。さらには 19 世紀英国の文化に多大な影響力を持ったラスキンとディケンズがどのような風景に魅力を感じたか、そしてディケンズはそれをどのように創作の中へ取り込んだか、また、ディケンズは常に独自の視点から物事を観察することに意識的であったが実際はどれほど 18 世紀的な物の見方や美意識に束縛されていたかについて考察を試みる。

Soyer's Symposium

明治大学准教授 小宮 彩加

ロンドン万国博覧会の幕開けから 9 日後の 1851 年 5 月 10 日。ディケンズはメンバーとなっていた Metropolitan Sanitary Association が主催する資金調達のためのディナーに参加していた。会場となったのは、“Soyer's Universal Symposium of All Nations” というレストラン。それはヴィクトリア朝を代表するセレブリティ・シェフ Alexis Soyer が作った話題の巨大レストランのオープンを飾る記念すべきディナーでもあり、新聞各紙にもその様子は伝えられた。

“Soyer's Symposium” は、万国博覧会の開催にあわせて、ハイドパークの万博会場の目の前に建つ Gore House を大改造し作られたアミューズメント・レストランだった。本発表では、時代を先取りするこの斬新なレストランを取り上げ、短命に終わったその歴史を紹介したいと考えている。

東京女子大学 キャンパスマップ

東京女子大学のウェブサイト URL: www.twcu.ac.jp



東京女子大学の構内には、チェコ生まれの建築家アントニン・レーモンド設計の7つの建物（最古のものは1926年完成、いずれも文化庁登録有形文化財）が、整然と配置されています。正門もレーモンド設計のオリジナルを復元しました。会員のみなさまにおかれましては、お早めにおいでいただき、緑に包まれた美しいキャンパスをぜひご見学ください。



交通アクセス

西荻窪駅 (JR 中央線・総武線、東京メトロ東西線乗り入れ) から

北口より徒歩12分、北口 (1番のりば) より吉祥寺駅行バスで「東京女子大前」下車 (約5分) 料金210円

注意! 土曜日は、中央線快速は西荻窪駅には停車しません。荻窪駅で総武線または東西線にお乗り換えください。

吉祥寺駅 (JR 中央線・総武線、京王井の頭線) から

北口 (3番のりば) より西荻窪駅・青梅街道営業所行バスで「東京女子大前」下車 (約10分) 料金210円

上石神井駅 (西武新宿線) から

南口より西荻窪駅行バスで「地蔵坂上」下車、徒歩5分